

# 兵庫県のに漁場環境情報 (淡路周辺海域 9 号)

2026年 1月16日発行  
兵庫のに研究所

海域全般にキートセロス等、多種の珪藻類が確認され、播磨灘に面した漁場では、やや多くなっています。播磨灘に面した西浦・南浦の漁場では、1/10から続いた西寄りの風波や大阪湾での栄養塩がやや低下していること、降雨による栄養塩供給がない影響で、窒素は概ね1  $\mu\text{g-at/L}$ 以下となっています。その他の海域では概ね2～4  $\mu\text{g-at/L}$ 台の値となっています。

## (珪藻、栄養塩ほか)

海域全般にキートセロス等、多種の珪藻類が確認され、播磨灘に面した西浦・南浦漁場では、やや多く確認された。また、ユーカンピアは、それほど増加していませんが全域で確認されるようになっています。

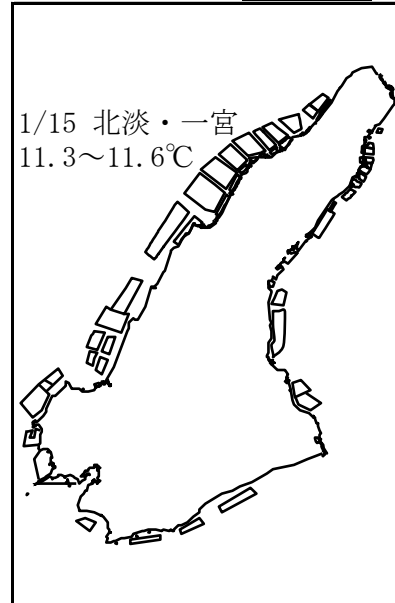
阿万⑩では夜光虫が多く確認され、その影響でアンモニア態窒素の値が高くなっていた。

		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	5.4	3.0	4.4	5.1
	リン	0.59	0.50	0.52	0.57
西浦地先	窒素	3.4	0.8	3.4	3.5
	リン	0.59	0.40	0.53	0.58
南浦地先	窒素	3.6	3.5	3.9	3.9
	リン	0.55	0.50	0.53	0.58

(1/7)

(1/17)

## 水温図



## 栄養塩 (窒素) 図

2026年 1月16日調査

